

静岡県における 慢性腎臓病医療連携

日本腎臓病協会

静岡県慢性腎臓病対策協議会

JCHO桜ヶ丘病院

森 典子

浜松医科大学

安田 日出夫

順天堂大学静岡病院

清水 芳男

富士市立中央病院

笠井 健司

静岡県立総合病院

長井 幸二郎

静岡県立こども病院

北山 浩嗣

藤枝市立総合病院

山本 龍夫

2022年11月版

静岡県慢性腎臓病対策協議会

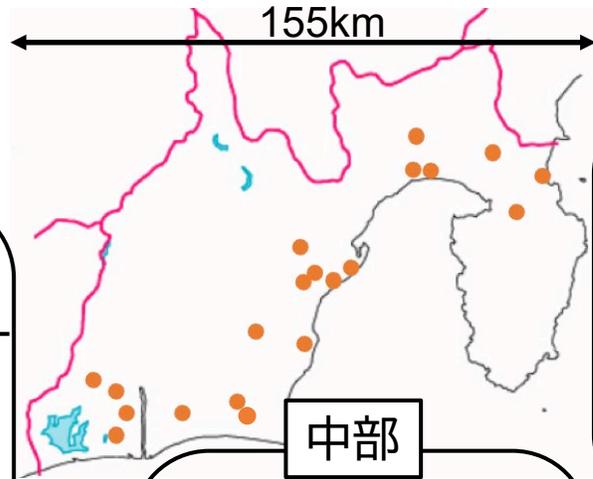


静岡県疾病対策課

2011年よりCKD対策の普及・啓発活動及び支援を行う目的で発足し、年2回静岡県各地域基幹病院の代表者が集まり情報共有

2020年より静岡県疾病対策課が静岡県慢性腎臓病対策協議会に参加

静岡県 人口:約360万人 (10番目)
面積: 7,777km² (13番目)



西部

市立御前崎総合病院
中東遠総合医療センター
磐田市立総合病院
浜松医科大学
聖隷浜松病院
聖隷三方原病院
浜松医療センター

東部

国際医療福祉大学熱海病院
順天堂大学静岡病院
富士市立中央病院
富士病院
富士宮市立病院
聖隷富士病院

中部

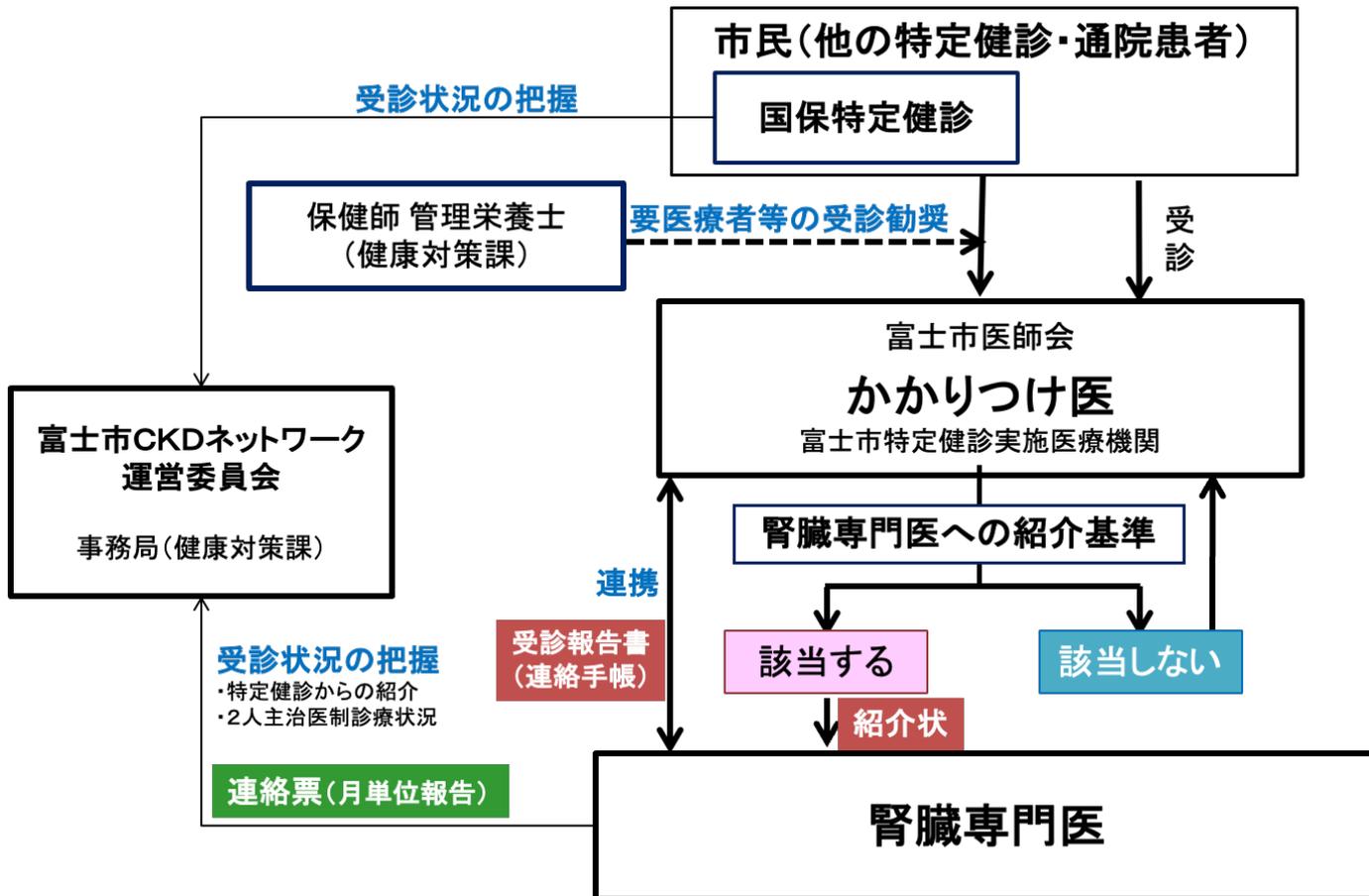
JCHO桜ヶ丘病院
静岡済生会総合病院
静岡県立総合病院
静岡県立こども病院
静岡市立静岡病院
静岡赤十字病院
焼津市立総合病院
藤枝市立総合病院

各地域での取り組みを紹介

- 東部 1) 富士市CKDネットワーク
- 中部 2) 静岡市腎疾患医療連携
静岡県療養指導推進委員会
- 中部 3) 静岡県小児慢性腎臓病対策
- 中部 4) ふじえだCKD・DKDネット
- 西部 5) 浜松市糖尿病性腎症重症化予防プログラム

各地域の取り組みを県全体に広げていく

富士市慢性腎臓病(CKD)ネットワーク体制



富士市CKDネットワーク発足と富士市立中央病院腎臓内科での診療実績推移

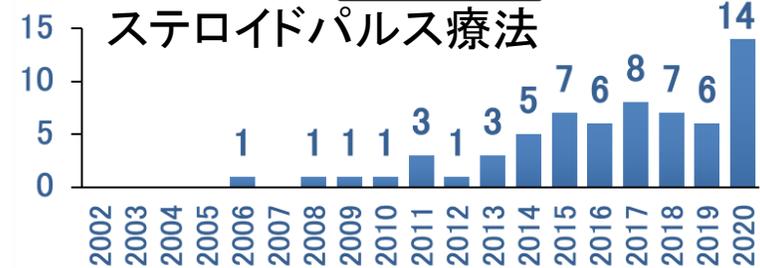


透析導入患者数



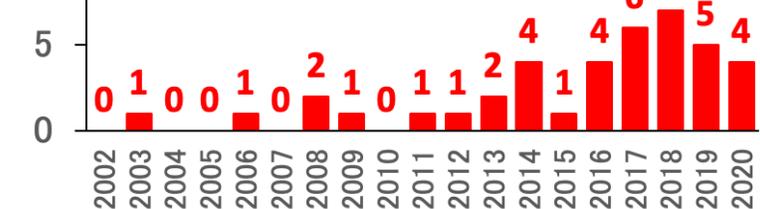
↑ 富士市CKDネットワーク発足

IgA腎症



↑ 富士市CKDネットワーク発足

扁桃摘出術施行例



静岡市の腎疾患医療連携システム：医師

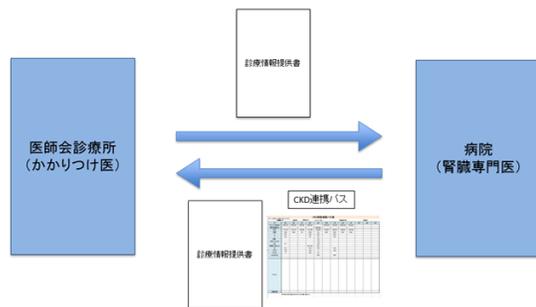
慢性腎臓病（CKD）医療連携システム

慢性腎臓病の病診連携

かかりつけ医と専門医とで病診連携パス表をやりとり

(<https://shizuoka-city-med.or.jp/e2net/cooperation/ckd/>)

CKD医療連携システムの流れ



静岡DKD連携パス

糖尿病性腎臓病(DKD)の病診連携

定型の紹介状をやりとり

(https://www.city.shizuoka.lg.jp/231_000061.html)

静岡DKD連携パス説明書

- 糖尿病は適切な治療と自己管理をしないと、腎臓を悪化させます。適切な治療を受けなければならない原因となる病気の一つの第一位を占めています。
- 静岡DKD連携パスとは糖尿病があり、腎臓がわるくなってきている（尿蛋白がみられる and/or クレアチンが上がる）患者が、今後の腎機能の悪化を極力最小限とするための医療です。
- かかりつけ医と腎臓もしくは糖尿病の専門医が連携して患者さんを診察します。
- かかりつけ医が専門医受診をするべき患者かどうかを判断し、必要に応じて受診を案内します。そして外来予約を入れます。
- かかりつけ医から静岡DKD連携パス用の問診票をうけとり、予約日までに返しておきます。
- 予約日に届いた「静岡DKD連携パスのご案内」に従って専門医を受診します。その際問診票を提示します。
- 専門医は糖尿病と腎臓病の進行度を把握するため、血糖検査、尿検査、超音波などの画像検査を行います。その結果に基づいて、食事指導、糖尿病療養指導、ほかの診療料による診療の予定を立てます。
- 必要な診療や治療を受け終わったら、かかりつけ医に連絡します。専門医受診の結果は診療情報提供書でかかりつけ医にお知らせし、その後のかかりつけ医における診療の参考にさせていただきます。
- 専門医による1年後の経過観察は必要ですので、予約を入れてお願ひいたします。
- 専門医は臨床研究のため匿名化された患者データを集めることが求められています。リストアニー登録に参加についてご理解を協力願ひいたします。
- かかりつけ医は1年間フォローをし、改善の有無を判定し、1年後の専門医予約日に向けて紹介とします。

静岡DKD連携パスのご説明

- 糖尿病は適切な治療と自己管理をしないと、腎臓を悪化させます。適切な治療を受けなければならない原因となる病気の一つの第一位を占めています。
- 腎臓の悪化が予想される患者さんは、かかりつけ医と腎臓・糖尿病の専門医が連携して診療することが望めます。
- 静岡DKD連携パスとは、CKD【糖尿病性腎臓病】すなわち糖尿病があり、腎臓がわるくなってきている患者さんの今後の腎臓の悪化を最小限にするための連携医療です。

かかりつけ医

①かかりつけ医は、専門医を受診するべき患者かどうかを判断し、必要に応じて専門医を受診し、外来予約を入れます。かかりつけ医から静岡DKD連携パス用の問診票をうけとり、予約日までに返しておきます。

専門医

②専門医は糖尿病と腎臓病の進行度を把握するため、血糖検査、尿検査、超音波などの画像検査を行います。その結果に基づいて、食事指導、糖尿病療養指導、ほかの診療料による診療の予定を立てます。

③必要な診療や治療を受け終わったら、かかりつけ医に連絡します。専門医受診の結果は診療情報提供書でかかりつけ医にお知らせし、その後のかかりつけ医における診療の参考にさせていただきます。

④専門医による経過観察は必要ですので、専門医の予約（毎月1年後）を入れてかかりつけ医に案内いたします。

静岡県腎臓病療養指導推進会：コメディカル

腎臓病療養指導のための知識・技能の向上を図り、静岡県の慢性腎臓病対策に貢献することを目的とする。

県内の腎臓病療養指導に関心がある看護師、薬剤師、管理栄養士に医師が加わり、年2,3回のWeb会議、腎臓病療養指導セミナーを行っている。

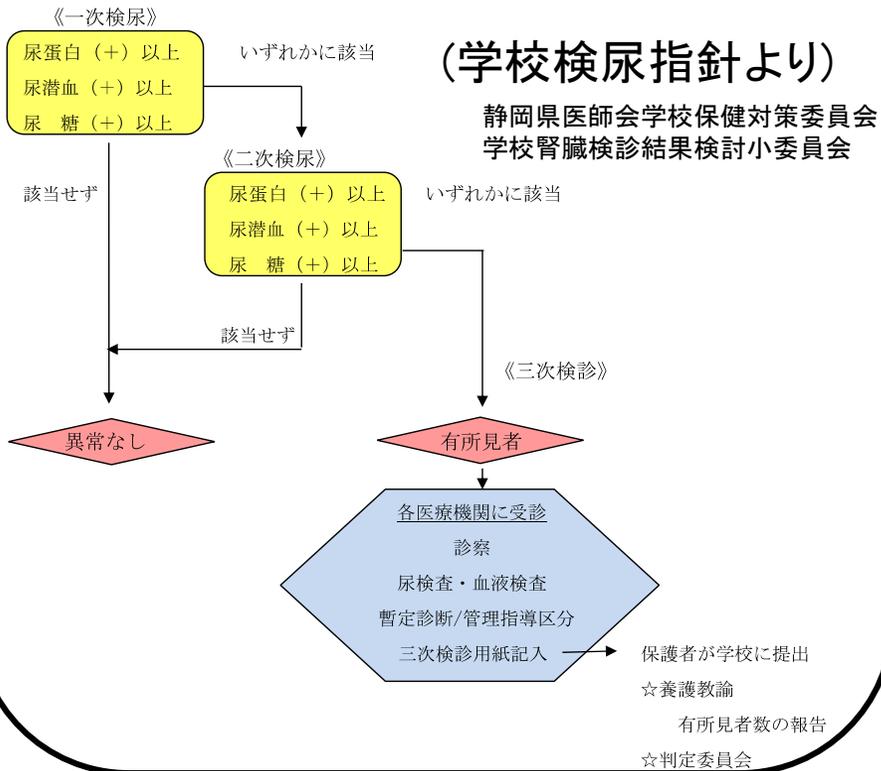
(<https://sizuoka-ckdstaff.localinfo.jp/>)



静岡県小児の慢性腎臓病対策

学校検尿

学校検尿の各市地区の委員会、県の委員会と、予防医学協会、教育委員会、各医師会が連携協力。**アルゴリズム変更・周知など**（蛋白尿・血尿；慢性腎炎疑いは、**より早期の紹介へ変更**）



移行期医療

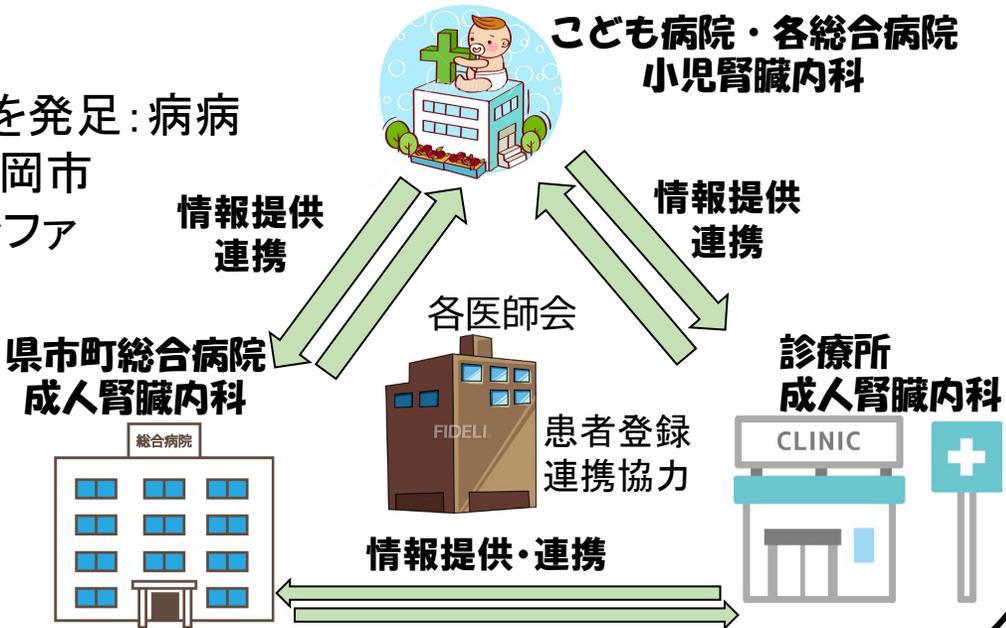
小児腎臓内科から成人腎臓内科への紹介:移行・併診

①行政との連携

2020年 静岡県立総合病院に移行医療部
2021年 静岡県立こども病院に静岡県移行医療支援センターを設置
静岡県立こども病院で、じりつ支援、レジストリー、病病診連携を強化

②医療連携

移行医療支援協議会を発足: 病病・病診連携について静岡市医師会と定期的なカンファレンスを開催。
県内の慢性腎臓病対策協議会を含む腎臓内科関連の研究会等でのコミュニケーション・顔の見える関係を構築。



ふじえだCKD・DKDネット

CKDネットマニュアル配布とCKD・DKDシールを用いた薬剤師参加CKD病診連携



65歳未満: eGFR 30以上、50未満
65歳以上: eGFR 30以上、45未満

eGFR 30未満

市内医療機関・薬局に
CKDネットマニュアル配布:
CKD診療を統一化

ポスター:
CKD、おくすり手帳1冊化を啓蒙

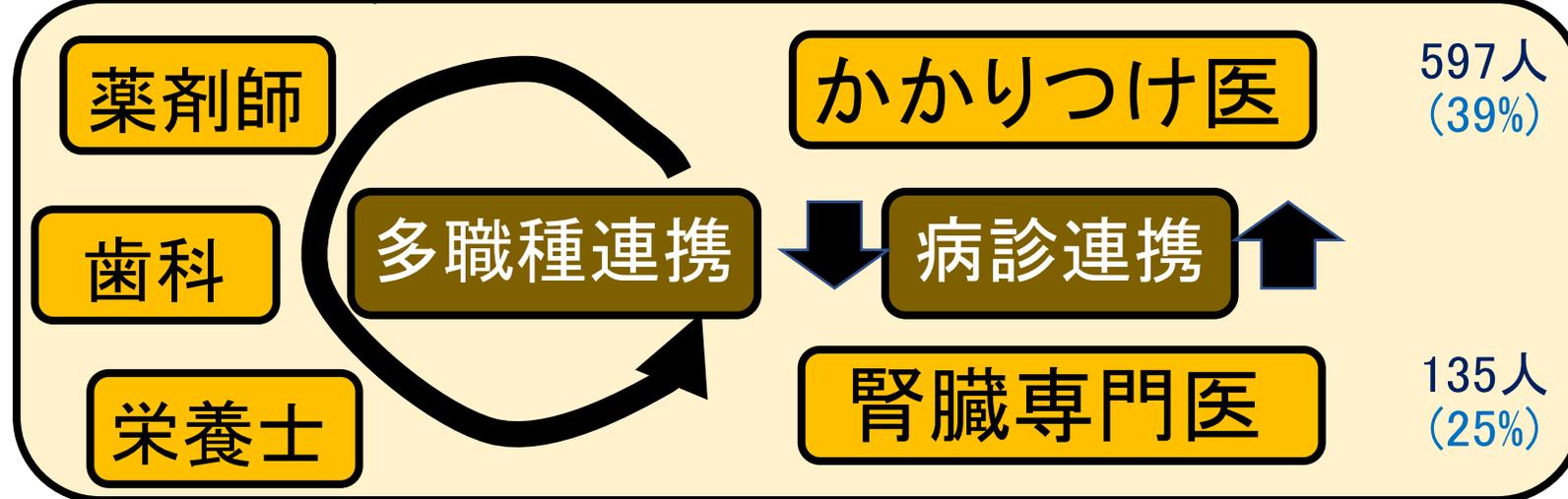
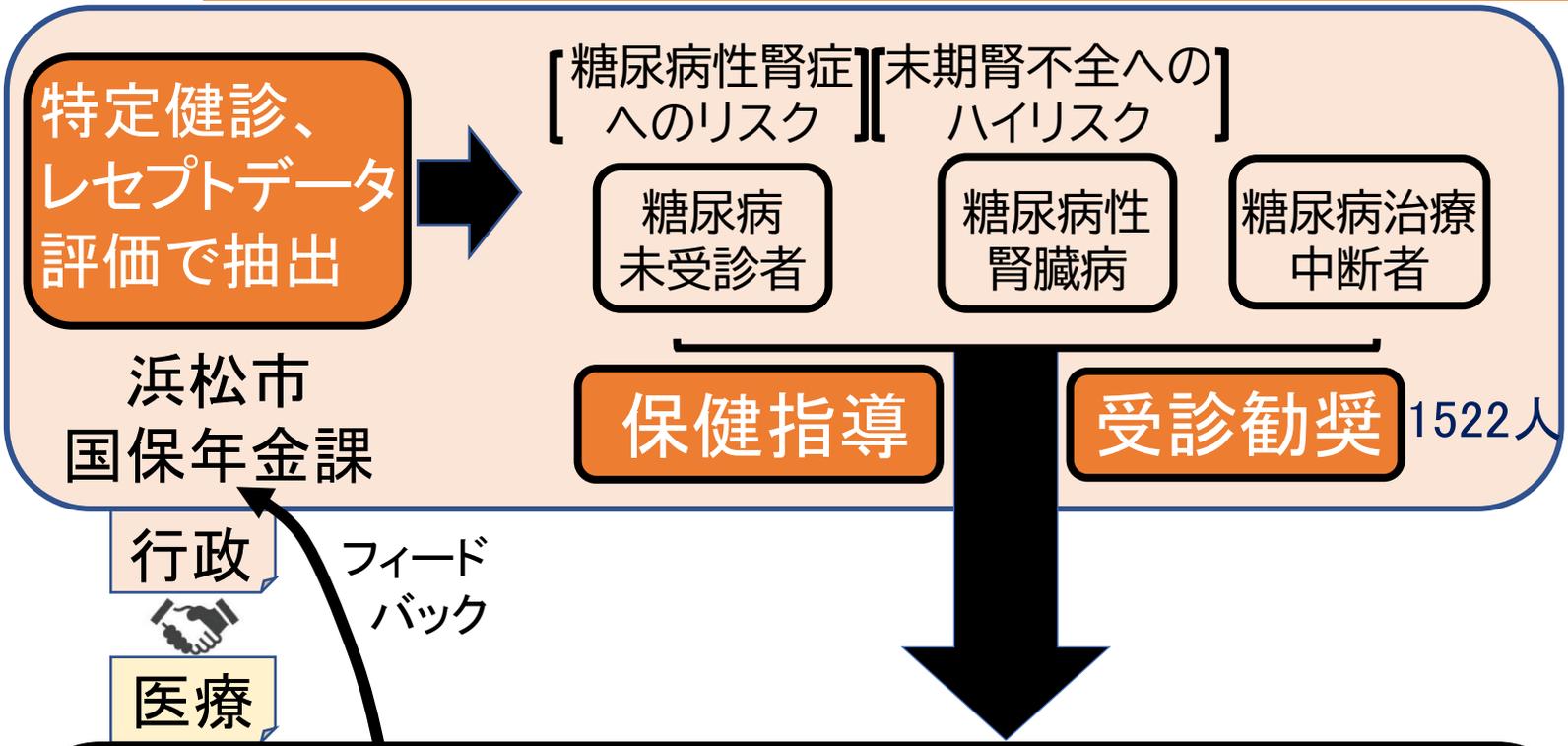


75歳未満: HbA1c 7.0%以上

目次		
慢性腎臓病(CKD)について	腎臓の位置	1
	腎臓の働き	2
	慢性腎臓病とは	3
	CKDの重症度分類	4
	腎臓が悪くなると	5
	食事療法	6-10
	たんばく質制限 塩分制限 カリウム制限 糖尿病を合併している場合	
	日常生活について	11-12
	薬物療法	13
	検査	14-15
	末期腎不全の治療法	16-17
	医療費	18

藤枝市立総合病院 腎臓内科・人工透析室
H27年2月1日

浜松市糖尿病性腎症重症化予防プログラム



特徴

- ① 腎臓専門医が受け皿
- ② どの専門医療機関でも同じ対応

2021年度実績

- ・ 1522人にかかりつけ医へ受診勧奨
- ・ 受診勧奨した患者の39% 597人がかかりつけ医に受診
- ・ かかりつけ医に受診した患者の23% 135人が腎臓専門医に受診

連携団体

- ・ 一般社団法人 浜松市医師会
- ・ 特定非営利活動法人 浜松市医師会
- ・ 糖尿病のよりよい医療連携を考える会
- ・ 静岡県慢性腎臓病対策協議会
- ・ 一般社団法人 浜松市薬剤師会
- ・ 静岡県栄養士会
- ・ 一般社団法人 浜松市歯科医師会